

平成31年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	柔軟な学びのシステムを活かした教育課程の編成を推進する。 生徒が主体的に学び、学力の定着が図れるような授業を実現するための研究を推進する。	①新学習指導要領の趣旨を踏まえた、新教育課程の編成を構築する。 ②生徒が主体的に学べるための授業研究を行う。 ・ICT機器等を活用することで、さらに分かりやすい授業の実現を目指す。	①新学習指導要領の改訂に伴う課題を把握し、その対応を検討する。 ②前期はスクーリング、後期はレポートについてテーマを設定し、研究授業を含めた全員協議会を開催する。 ・ICT機器等を活用した授業の研修会を三課程合同で実施する。	①グループ会議や教科会で、新学習指導要領の改訂に伴う課題を把握し、その対応を検討することができたか。 ②授業研究を通して、アイデアを出し合い、授業改善の手立てを共有できたか。 ・ICT機器等の長を活かした授業の利点を共有することができたか。					
2 生徒指導・支援	多様な課題を抱える生徒に対応するため指導、支援体制の充実を図る。 学校行事を通して生徒の自己肯定感の向上を図る。	①外部の関係機関の人材と連携し、支援体制の充実を図る。 ・学校いじめ防止基本方針に基づく取組を徹底する。 ②生徒が主体的に活動し、自己肯定感が高められる環境づくりを進める。	①心身の健康や自らの生活・教育環境に課題を抱えている生徒がきわめて多い。ゆえに生徒の情報交換を常時行い、家庭への連絡や、SSWやSCとの協力・連携を密にし、より良いサポート体制を構築する。 ・いじめについても初動の適切な指導に十分な配慮をし、相談しやすい、または安心できる教育環境の形成に努める。そのためのアンケート調査も活用する。 ②自己肯定感の乏しい通信制の生徒に対して、まずは自信をもたせ、主体的な活動の場として、カフェ等を利用し、達成感や学校生活の充実を満喫できるよう、常にアドバイスをする。	①注意すべき生徒の動向やその対応にきちんと検証を行い、改善点を明確に浮き彫りにしたか。 ・いじめの有無を的確に精査し、あった場合は迅速かつ適切な指導・助言を行えるようその体制を整えられたか。 ②学校行事や課外活動での実績、またはその他の生徒の活動状況を総合的に見て、生徒の笑顔があふれ、安心して学校生活を過ごしているかを、多面的な視野から判断し、生徒の学習状況や進路実現などへ繋がっているか。					

	視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3	進路指導・支援	生徒一人ひとりが将来性、計画性を踏まえて自己実現ができる進路指導の充実を図る。	①多様な課題を抱える生徒に対応するキャリアサポート体制の充実を図る。	①スクールキャリアカウンセラーの力を借りながら、適切かつ確実性の高いキャリアサポート体制を構築する。 ・ハローワークのジョブサポーターとの連携も密にし、より良い就職活動を支援する。 ・毎年、通信制には情報過疎になりがちのため、進学についての様々な情報を他課程と同様に提供できるように細心の注意をするように努める。また、そのための情報の取捨選択や情宣のメソッドを多角的に分析し、生徒の利益となるように充実させる。	①生徒への的確な進路指導、実現が果たせたかを、具体的な進路決定先を表し、検証できたか。 ・進路未定のまま卒業を迎える生徒を、極力減らすような取り組みができたか。 ・生徒のキャリア教育に関して、実効力のある情報提供、アドバイスができたか。					
4	地域等との協働	地域に理解され、信頼される活動を推進する。	①地域との連携を推進し地域貢献活動に積極的に取り組む。 ・防災活動について地域との協働を図る。 ②教育活動の情報発信の充実を図る。	①通学路の清掃活動、小学校のイベント参加などを通して、地域社会への貢献・交流を行う。 また、厚木市、近隣自治会との連携を密にして、避難所としての役割を果たすための避難所運営委員会の設立をめざすとともに地域との協働を図る。 ②ホームページの充実やスクーリング公開などを通して学校の広報活動を充実させる。	①生徒が貢献活動の意義を理解し、活動に満足感を持てたか。地域の方々に活動が認知されているか。避難所運営マニュアルが完成したか。避難所運営委員会が設立できたか。 ②各種学校説明会等への参加者が増加しているか。					
5	学校管理 学校運営	安全・安心な学校づくりのために三課程が連携して教育活動を展開する。 フレキシブルスクールとして三課程の情報共有を推進する。	①学校運営マニュアル等の内容の充実を図る。 ・三課程で連携実施する防災訓練を発展させる。 ②ICT機器の利活用により、学校運営の円滑化をさらに推進する。	①学校安心安全管理計画を作成し、学校の安全教育・安心管理の充実や周知を図る。また、三課程合同防災訓練をより実践的なものに工夫する。 ②ポータルサイトの更なる活用とICT機器の利活用のための研修を充実させる。	①学校の安全安心管理の充実と職員への周知ができたか。 ②三課程の情報共有にポータルサイトが十分機能しているか。					